

様式 - A

用語	流量
よみ	りゅうりょう
解説	ある地点を1秒間に水が流れる量。
用例 (主に活用される場面)	流量観測所の流量が m^3 / S (リットル毎秒)に達しました。 流量の単位は「 m^3/s 」ですが「トン」と呼ぶこともある。
関連用語・ 類似用語	河積(かせき) 河川の横断面における流水部分の面積(河の流れの断面)。
注意すべきポイント (防災上の注意すべき点)	流量は計算で出されている推定値であり、実際はその値より多いことがある。

様式 - A

用語	水位観測所 流量観測所
よみ	すいいかんそくじょ りゅうりょうかんそくじょ
解説	河川の水位や流量を測るために設けられた場所。洪水予報はその河川の代表的な観測所で観測された水位・流量の値を基準にして警報・注意報が発表される。
用例 (主に活用される場面)	水位観測所の水位が警戒水位を超えました。 流量観測所での流量は現在 m^3/s です。
関連用語・ 類似用語	洪水予報(関連用語:別紙)
注意すべきポイント (防災上の注意すべき点)	

様式 - A

用語	洪水ハザードマップ
よみ	こうずいはざーどまっぷ
解説	破堤、氾濫等の水害時における人的被害を軽減することを目的として、市町村において作成される地図。地図には浸水の範囲や深さ、避難場所、避難経路などの情報が記載されている。
用例 (主に活用される場面)	市は浸水のおそれのある地区の市民に対し、避難勧告を発令しました。 その地区には洪水ハザードマップが配布されていたので、避難がスムーズに行われました。
関連用語・ 類似用語	破堤、氾濫(関連用語:別紙)
注意すべきポイント (防災上の注意すべき点)	ハザードマップには「洪水ハザードマップ」の他に「火山ハザードマップ」などがある。災害が発生した時にどのような事態が起きるかを知ることが、災害の軽減に繋がることが過去の災害の中で証明されている。